

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの 2019 年国別分類に関する相談

ニューヨーク、2019年8月13日：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス（以下、「S&P DJI」という）は、年間の国別分類に関して投資コミュニティのメンバーと相談を行います。S&P DJI のグローバル株価指数は3つのカテゴリー（先進国、新興国、フロンティア）に大別されます。どのカテゴリーにも属さない国もあり、指数構築の目的上、こうした国は個別国と見なされます。各国の分類を判断する際には、定性及び定量の両面から様々な要因を考慮します。

さらに、市場が先進国、新興国、またはフロンティアのいずれに分類されるべきかを判断する際には、機関投資家の意見や経験が非常に重要となります。S&P DJI は、この相談で対象としている国や市場に関して、機関投資家からのフィードバックを求めています。

S&P DJIでは、貴社の見解や意向を適切に評価する上で様々な市場参加者から情報を収集しているため、貴社がこの相談に参加していただくことは非常に重要です。S&P DJIでは相談にお答えします。その相談内容は要請に応じて入手可能です¹ 貴方の回答が入手可能になることを希望しない場合には、貴方の回答の中でその旨を明確に記載する必要があります。2019年10月15日までにこの調査に回答いただければ幸いです。この日付を過ぎた場合、回答を受け取ることができませんので、ご容赦ください。S&P DJIでは指数委員会の最終レビュー前に、この問題を検討し、レビューの一環として回答者からの説明をお願いする場合があります。提出期限後における質問に対する別の選択肢については、相談に関して再度一般公開することが必要となります。

今回の相談にオンラインで参加するには、[ここ](#)をクリックして英語のオンライン調査に回答してください。

日本語でこの相談に参加するためには、S&P DJI (index_services@spglobal.com)宛てにeメールで回答を送信してください。

今回の相談で寄せられた全てのコメントをレビュー・検討した上で、最終決定が下されます。ただし、S&P DJI は、回答に従うことを保証するものではなく、またはその義務もありません。この調査により、変更が行われない場合もあります。S&P DJI が指数メソドロジーの変更を決定した場合、弊社のウェブサイト上でその旨を報告いたします。

調査にご協力いただき有難うございました。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスに関する詳細については、www.spdji.comをご覧ください。

プロセス

S&P DJI では、定量データを使用し、先進国、新興国、及びフロンティアの国別分類に関する市場適格性を最初に評価します。S&P DJI の先進国指数、新興国指数、またはフロンティア指数への採用に

¹ 個人名及び会社名や、お問い合わせ先の詳細が公表されることはありません。

適格であると見なされるためには、国は当初の特定基準を満たす必要があります。特に先進国及び新興国に分類されるためには、国は一定の追加基準を満たす必要があります。さらに先進国として分類されるためには、国の経済状況に関する最終基準を満たす必要があります。国別分類要件は以下の表に要約されています。

国別分類要件

以下の表に記載されている基準の詳細については、本資料の最後にある付属資料 A をご覧ください。

S&P DJI の国別分類基準	フロンティア	新興国	先進国
当初の適格性基準			
<ul style="list-style-type: none"> 国内の全ての市場の時価総額合計が 25 億ドル以上 国内の年間出来高が 10 億ドル以上 証券取引所の発達度合いが 5%以上 	最低 2 つの √ が必要	√ √ √	√ √ √
追加基準			
<ul style="list-style-type: none"> 国内の全ての市場の時価総額合計が 150 億ドル以上 決済期間が T+3 またはそれよりも短い ソブリン債格付けが BB+ またはそれ以上 ハイパーインフレが発生していない 重大な外国人保有制限が存在しない 現地通貨が自由に取引できる 		√	√
		最低 3 つの √ が必要	√ √ √ √ √
GDP 基準			
<ul style="list-style-type: none"> 購買力平価 (PPP) で換算した国民 1 人当たりの名目国内総生産 (GDP) が 15,000 ドル以上 			√

√ - 満たす必要のある基準

詳しい情報については、S&P DJI の [国別分類メソドロジー](#) を参照ください。

フロンティア市場

既存の S&P DJI フロンティア市場指数については、上述の要件を満たしていない場合でも、データの利用可能性または正確性に関して深刻な問題がない限り、引き続き指数の算出が行われます。

相談

S&P DJI は、分類の変更が検討されている以下の国に関してフィードバックを求めています。以下では、これらの市場に関する一般的な情報を記載しています。いかなるフィードバックも貴重な意見として承ります。まだ考慮されていない可能性のある追加情報も回答に盛り込んでください。

分類の変更が検討されている国

- アイスランド
- ポーランド

アイスランド

概要：アイスランドは2008年12月、同国の深刻な金融危機の期間中に資本規制が導入されたことを受け、該当するS&P DJI ベンチマーク指数から除外されました。ここ数年間にわたり、ほとんどの資本規制が解除されたため、同国の株式市場を外国人投資家に再開放する道が開かれました。したがって、S&P DJI では、アイスランドをフロンティア市場として分類する可能性に関して、また、S&P DJI のフロンティア市場指数にアイスランドの証券を加える可能性に関して、市場のフィードバックを求めています。仮に再分類されることになった場合、2021年3月のフロンティア市場の再構築において変更が有効となります。²

主な動向：ここ数年にわたり、アイスランドは2008年の金融危機から立ち直ることに努めており、同国の経済は安定した成長を遂げ、インフレも低水準で推移しています。外国為替取引、海外投資、ヘッジ取引、及び貸出活動などのほとんどの資本規制が2017年3月14日に撤廃されました。2018年には、特別準備金要件が軽減され、ロックアップ期間が撤廃されました。2019年には、特別準備金要件が完全に撤廃されました。ただし、アイスランドクローナのオフショア市場はもはや存在しておらず、ヘッジ以外の目的によるデリバティブ取引に対しては、外国為替制限が依然として設けられています。

年	国内の全ての市場の時価総額 (10 億ドル)	国内の出来高 (10 億ドル)
2018	9	4.73

S&P DJI のグローバル・ベンチマーク指数におけるウェイト

ベンチマーク指数	現在のウェイト	推定ウェイト
S&P フロンティア BMI	--	2.92%

S&P アイスランド BMI の推定構成銘柄数及び浮動株調整後時価総額 (以下、「FMC」という)³

構成銘柄数	FMC (百万ドル)
10	5,861.64

² 国内の全ての市場の時価総額を考慮すると、アイスランドは、S&P [フロンティア指数メソドロジー](#)においてティア3市場として分類される可能性があります。

³ 2019年6月24日現在の情報。

S&P フロンティア BMI の推定構成⁴

国	構成銘柄数	ウェイト
アルゼンチン	30	23.5813%
ベトナム	42	12.6513%
モロッコ	19	7.4770%
ナイジェリア	20	5.4404%
パナマ	6	5.0821%
バングラデシュ	58	4.5721%
パーレーン	10	4.0245%
ケニア	17	3.8305%
ルーマニア	9	3.6769%
ヨルダン	13	3.3693%
アイスランド	10	2.9254%
モーリシャス	25	2.4413%
オマーン	14	2.3249%
ジャマイカ	19	2.2232%
スロベニア	12	2.1835%
トリニダード・トバゴ	11	2.1522%
クロアチア	16	2.0779%
レバノン	6	1.6065%
スリランカ	28	1.4798%
カザフスタン	5	1.2929%
チュニジア	53	1.1370%
コートジボワール	20	0.7244%
キプロス	13	0.6260%
ボツワナ	10	0.6112%
エストニア	13	0.5808%
ブルガリア	27	0.5580%
ガーナ	12	0.4521%
ナミビア	4	0.3971%
リトアニア	16	0.3136%
ザンビア	7	0.0978%
スロバキア	2	0.0535%
ラトビア	2	0.0356%
合計	549	100.00%

相談に関する質問

次の質問に回答し、回答の根拠をS&P DJIに提示ください。

- アイスランドに関して、S&P DJI のグローバル株価指数において講じるべき最も適切な措置は何ですか？
 - 2021年3月にフロンティア市場に再分類し、アイスランドの証券をS&P フロンティア BMI にだけ加える
 - 2021年3月にフロンティア市場に再分類し、アイスランドの証券を全てのS&P DJI フロンティア指数（S&P フロンティア BMI、S&P セレクト・フロンティア、S&P 拡大フロンティア 150、及びS&P/BNY メロン・ニュー・フロンティア指数など）に加える
 - アイスランドをどのカテゴリーにも分類せず、アイスランドの証券をいかなるS&P DJI グローバル指数にも加えない。
- アイスランドの分類に関して他にコメントまたはフィードバックがありますか？

⁴ 2019年6月24日現在の情報。これには、2019年9月に新興国市場のカテゴリーに再分類される予定のクウェートは含まれていません。

ポーランド

概要：ポーランドは現在、S&P DJI のグローバル株価指数において新興国市場として分類されています。ポーランド経済は東欧で最も規模の大きい経済の1つであり、ここ数年にわたり好調に推移しています。GDP 成長率は堅調な伸びを示し、インフレは安定しています。また、ここ数年にわたり市場インフラが改善しているため、同国の市場は先進国市場の基準に沿った水準になっています。したがって、S&P DJI では、ポーランドを先進国市場に再分類することに関して市場参加者のフィードバックを求めています。仮に先進国市場に再分類されることになった場合、2020年9月の年間再構築において変更が実施されます。

主な動向：ポーランド経済の成長率及び安定性や、資本市場の発展により、ポーランドは世界の投資家にとって、より魅力的かつアクセス可能な市場になっています。国民1人当たりのGDPは急速なペースで増加しており、コストディ業務の改善や、貸株取引の増加により、同国の市場インフラやアクセス可能性は先進国市場の基準に沿った水準になっています。ポーランドの財務省が2019年に公表した資本市場開発戦略では、市場の信頼性向上に向けた取り組みの一環として、市場における規制の枠組みの改善や、新たなテクノロジーの採用などを進める方針が示されています。

年	国内の全ての市場の時価総額 (10 億ドル)	国内の出来高 (10 億ドル)
2018	158	52.99

S&P DJI のグローバル・ベンチマーク指数におけるウェイト

ベンチマーク指数	現在のウェイト	推定ウェイト
S&P 新興国 BMI	1.28%	
S&P 先進国 BMI		0.14%

浮動株調整後時価総額（以下、「FMC」という）で上位5位のポーランドの銘柄

会社名	FMC (百万ドル) ⁵
PKO Bank Polski SA	9,966.76
Polski Koncern Naftowy SA	7,047.32
Powszechny Zaklad Ubezpieczen SA	6,787.31
Bank Pekao SA	4,891.94
KGHM Polska Miedz SA Br	3,791.44

S&P ポーランド BMI の推定構成 ⁵

規模	構成銘柄数	FMC (百万ドル)
大型	11	47,382.69
中型	8	11,501.26
小型	24	11,044.30
合計	43	69,928.25

⁵ 2019年6月24日現在の情報

S&P 先進国 BMI の推定構成⁶

国	構成銘柄数	ウェイト
米国	2,891	59.7162%
日本	1,765	9.1719%
英国	357	5.6075%
カナダ	366	3.4628%
フランス	186	3.3920%
スイス	134	2.9759%
ドイツ	215	2.8296%
オーストラリア	281	2.4407%
韓国	788	1.8259%
香港	179	1.2774%
ニュージーランド	68	1.2029%
スウェーデン	161	1.0068%
スペイン	76	0.9885%
イタリア	125	0.8623%
デンマーク	51	0.5808%
シンガポール	92	0.5249%
ベルギー	51	0.4308%
フィンランド	45	0.4080%
ノルウェー	79	0.3079%
イスラエル	79	0.2439%
アイルランド	27	0.2353%
ポーランド	43	0.1424%
ニュージーランド	33	0.1279%
オーストリア	32	0.1156%
ポルトガル	15	0.0639%
ルクセンブルク	10	0.0583%
合計	8,149	100.00%

相談に関する質問

次の質問に回答し、回答の根拠をS&P DJIに提示ください。

3. ポーランドに関して、S&P DJI のグローバル株価指数において講じるべき最も適切な措置は何ですか？
 - 2020年9月に先進国市場のカテゴリーに再分類する
 - 新興国市場のカテゴリーのままにする
4. ポーランドの分類に関して他にコメントまたはフィードバックがありますか？

⁶ 2019年6月24日現在の情報

その他の事項

中国 A 株

以前に発表されたように、S&P DJI は中国 A 株を新興国市場分類（25%の組入れファクター）でグローバル・ベンチマーク指数に加える方針であり、これは 2019 年 9 月 23 日（月曜日）の市場開始前に有効となる予定です。⁷

S&P DJI は引き続き中国 A 株市場を注意深く監視しており、2019 年 9 月の再構築時点で最初のトランシェを実施した後に、グローバル・ベンチマークにおける A 株のウェイトをさらに増やすことに関して、及び（または）、中国 A 株をその他の指数に加えるかどうかに関して、相談を実施する可能性があります。

ウォッチリスト

S&P DJI では、再分類の可能性がある国をウォッチリストに掲載しています。これらの国に対する最新のレビューに基づいて、S&P DJI は現時点で、これらの国の分類変更を検討していません。各国の動向が大きく変化し、分類の変更を検討する必要性が生じた場合、S&P DJI はその件に関して公の相談を実施します。

ウォッチリスト		
国	現在の分類	再分類の可能性
アルゼンチン	フロンティア	新興国に格上げ
チェコ共和国	新興国	先進国に格上げ
ハンガリー	新興国	先進国に格上げ
ルーマニア	フロンティア	新興国の格上げ
ベトナム	フロンティア	新興国に格上げ

相談に関する質問

次の質問に回答し、回答の根拠をS&P DJIに提示ください。

5. S&P DJI のグローバル・ベンチマーク指数において、中国 A 株のウェイトを増やすことに関して何かコメントまたはフィードバックがありますか？
6. 上述のウォッチリストに掲載されている国に関して何かコメントまたはフィードバックがありますか？

⁷ S&P DJI の2018年国別分類相談の結果については、[ここ](#)をご覧ください。

付属資料 A

S&P DJI のグローバル株価指数の適格性に関する当初基準

S&P グローバル・ベンチマーク指数への採用候補として検討されるためには、国は次の 3 つの基準の内、最低 2 つの基準を満たす必要があります：

- 国内の全ての市場の時価総額合計が **25 億ドル以上**であること：市場規模が重要である。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスでは測定手段として、証券取引所の主要市場の時価総額合計を使用している。小規模な市場では浮動株情報が入手できない場合があるため、浮動株調整後時価総額は使用しない。したがって、全ての市場にわたり浮動株情報が一貫しているわけではない。
- 年間の出来高が **10 億ドル以上**であること：流動性不足により取引が困難になることがないように、取引所には十分な出来高があることが必要である。S&P DJI は、レビュー前の 1 暦年にわたり市場における国内企業の出来高合計を確認する。
- 「市場の発達度合い」が **5%以上**であること：多くの国では株式市場の規模が非常に小さいため、国内の市場経済の状況を十分に表していない。十分に発達した市場だけを使用するために、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスでは「市場の発達度合い」を計算している。これは、国内の全ての証券取引所の時価総額を、国際通貨基金（IMF）が提供する購買力平価に基づくその国の国内総生産（GDP）で除することにより算出される。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス・カンントリー指数への採用候補として検討されるためには、この数値が **5%以上**である必要がある。

S&P DJI の新興国市場状況に関する追加要件

ある国が新興国市場への分類候補として検討されるためには、基本的基準の 3 つ全てを満たすとともに、国内の全ての市場時価総額合計が **150 億ドル以上**であり、なおかつ以下の 5 つの基準の内、最低 3 つを満たす必要があります。

- 決済期間が **T+3** またはそれよりも短いこと：取引を効率的かつ迅速に決済できることは、投資家が信頼して取引を行う上で必要である。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスでは **T+3** またはそれよりも短い期間で取引を決済するように市場に求める。
- 主要格付け会社がソブリン債に対して投資適格の格付けを付与していること：企業が事業を遂行する能力は自国の財政状況により直接影響を受ける。S&P グローバル・レーティングにはカンントリー・リスクの分析に専念しているチームがあり、各国のソブリン債についてはその格付けを使用し、リスクが適切な水準であることを確認する。
- ハイパーインフレが発生していないこと：ここでは、レビュー時点で国の年間平均消費者物価指数の上昇率が **15%以上**であることをハイパーインフレと定義している。
- 重大な外国人保有制限がないこと：外国人保有制限がある場合、所与の市場で銘柄への必要なエクスポージャーを達成することが困難となる。S&P DJI は、特定の産業（防衛など）の銘柄が一般に制限されていることを認識している。ただし、S&P DJI ではステート・ストリート・グローバル情報データベースを使用して追加の制限を監視しており、投資に関して問題が生じる可能性があるかどうかを評価している。
- 国の通貨が自由に取引できること：現地通貨の売買や、または市場からの本国送金などが困難な場合、投資のプロセスが非常に複雑になる恐れがある。S&P DJI ではステート・ストリート

ト・グローバル情報データベースを使用し、各市場において通貨に関する制限があるかどうかを評価している。

S&P DJI の先進国市場状況に関する追加要件

先進国市場への分類候補として検討されるためには、国は当初基準及び追加基準の 8 つ全てを満たすと同時に、購買力平価（PPP）で換算した国民 1 人当たりの名目国内総生産（GDP）が 15,000 ドル以上である必要があります。

ベースラインからの逸脱：この評価を通じて、国別分類の変更の可能性が示唆された場合、より綿密な調査が実施されます。この調査では、主な基準及び追加基準の両方に加え、以下の定量的及び定性的分野をカバーします：

- **経済及び政治情勢**
 - 実質 GDP 成長率の動向や経済全体の規模などのマクロ経済指標。
 - 戦争、国内紛争、及び混乱などの政治的要因や、戦争または社会不安のリスク。
 - その他の政府により課せられる投資制限。
- **関連する投資条件**
 - 決済手順。
 - 外国為替のアクセス及び手順。
 - 空売りや、先物取引の利用可能性などに関する規則。
 - 国内の銘柄への投資に代わる手段の利用可能性。例えば、預託証券（DR）またはその他の国のその他の市場に上場している多くの証券など。
 - 国内の上場銘柄数。
- **市場コンセンサス**
 - 変更に対する願望。
 - 国の分類の変更を望む市場コンセンサスが存在する。
 - その他の市場参加者の行動。
 - S&P DJI のスタッフは、投資家コミュニティと常に連絡を取っており、関心のある新しい国や、S&P DJI のグローバル株価指数における既存の構成国に関する問題について定期的に意見を交わしている。
 - その他の指数プロバイダーの行動は重要である。全ての指数プロバイダーは、国別分類において市場を評価する際に、投資家コミュニティの見方を取り入れることに努めている。国別分類の変更は、プロバイダーの顧客や広範な市場のセンチメントの変化を反映している。

出所：

ステート・ストリート - 「Guide to Custody in World Markets」

S&P ソブリン債格付け

IMF のウェブサイト

世界銀行のウェブサイト

証券取引所のウェブサイト

付属資料 B

S&P DJI のグローバル・ベンチマーク指数の国別ウェイト（2019年6月24日現在）：

S&P 先進国 BMI	
国	ウェイト
オーストラリア	2.44%
オーストリア	0.12%
ベルギー	0.43%
カナダ	3.47%
デンマーク	0.58%
フィンランド	0.41%
フランス	3.40%
ドイツ	2.83%
香港	1.28%
アイルランド	0.24%
イスラエル	0.24%
イタリア	0.86%
日本	9.18%
ルクセンブルク	0.06%
オランダ	1.20%
ニュージーランド	0.13%
ノルウェー	0.31%
ポルトガル	0.06%
シンガポール	0.53%
韓国	1.83%
スペイン	0.99%
スウェーデン	1.01%
スイス	2.98%
英国	5.62%
米国	59.80%

S&P 新興国 BMI	
国	ウェイト
ブラジル	8.93%
チリ	1.10%
中国	31.92%
コロンビア	0.57%
チェコ共和国	0.16%
エジプト	0.23%
ギリシャ	0.45%
ハンガリー	0.30%
インド	13.36%
インドネシア	2.48%
マレーシア	2.64%
メキシコ	2.83%
パキスタン	0.13%
ペルー	0.44%
フィリピン	1.38%
ポーランド	1.28%
カタール	1.02%
ロシア	4.67%
サウジアラビア	1.47%
南アフリカ	6.67%
台湾	13.26%
タイ	3.21%
トルコ	0.75%
アラブ首長国連邦	0.74%

S&P フロンティア BMI	
国	ウェイト
アルゼンチン	19.02%
バーレーン	3.25%
バングラデシュ	3.69%
ボツワナ	0.49%
ブルガリア	0.45%
コートジボワール	0.58%
クロアチア	1.68%
キプロス	0.50%
エストニア	0.47%
ガーナ	0.36%
ジャマイカ	1.79%
ヨルダン	2.72%
カザフスタン	1.04%
ケニア	3.09%
クウェート	21.71%
ラトビア	0.03%
レバノン	1.30%
リトアニア	0.25%
モーリシャス	1.97%
モロッコ	6.03%
ナミビア	0.32%
ナイジェリア	4.39%
オマーン	1.88%
パナマ	4.10%
ルーマニア	2.97%
スロバキア	0.04%
スロベニア	1.76%
スリランカ	1.19%
トリニダード・トバゴ	1.74%
チュニジア	0.92%
ベトナム	10.20%
ザンビア	0.08%

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス

S&P/IFCI コンポジット 指数	
国	ウェイト
ブラジル	7.84%
チリ	0.97%
中国	27.53%
コロンビア	0.48%
チェコ共和国	0.14%
エジプト	0.19%
ギリシャ	0.39%
ハンガリー	0.27%
インド	11.64%
インドネシア	2.14%
マレーシア	2.29%
メキシコ	2.52%
パキスタン	0.10%
ペルー	0.39%
フィリピン	1.21%
ポーランド	1.11%
カタール	0.90%
ロシア	4.10%
サウジアラビア	1.11%
南アフリカ	5.87%
韓国	13.46%
台湾	11.28%
タイ	2.76%
トルコ	0.64%
アラブ首長国連邦	0.65%

ダウ・ジョーンズ先進国 市場指数	
国	ウェイト
オーストラリア	2.46%
オーストリア	0.11%
ベルギー	0.42%
カナダ	3.48%
デンマーク	0.58%
フィンランド	0.40%
フランス	3.47%
ドイツ	2.86%
香港	1.32%
アイルランド	0.22%
イスラエル	0.18%
イタリア	0.85%
日本	9.22%
ルクセンブルク	0.05%
オランダ	1.22%
ニュージーランド	0.13%
ノルウェー	0.27%
ポルトガル	0.06%
シンガポール	0.54%
韓国	1.89%
スペイン	1.00%
スウェーデン	0.95%
スイス	3.04%
英国	5.66%
米国	59.62%

ダウ・ジョーンズ新興国 市場指数	
国	ウェイト
ブラジル	8.74%
チリ	1.09%
中国	31.52%
コロンビア	0.55%
チェコ共和国	0.16%
エジプト	0.25%
ギリシャ	0.46%
ハンガリー	0.31%
インド	13.55%
インドネシア	2.49%
マレーシア	2.69%
メキシコ	2.80%
パキスタン	0.14%
ペルー	0.45%
フィリピン	1.39%
ポーランド	1.29%
カタール	1.02%
ロシア	4.65%
サウジアラビア	1.49%
南アフリカ	6.64%
台湾	13.46%
タイ	3.31%
トルコ	0.80%
アラブ首長国連邦	0.74%

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスについて

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数ベースのコンセプトやデータ、リサーチを提供する世界最大のグローバル・リソース企業であり、**S&P 500®**及び**ダウ・ジョーンズ工業株平均®**といった金融市場の代表的指標を算出しています。当社の指数に基づく金融商品に投資される資産額は、世界の指数プロバイダーの中で最大規模となっています。チャールズ・ダウが**1884年**に初めて指数を発明して以降、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**は、広範なアセット・クラスをカバーする指数を開発しており、これにより投資家が市場を測定し、売買する方法を定義することが可能となっています。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、**S&P グローバル (NYSE: SPGI)** のグループ会社であり、個人や企業、政府が確信を持って意思決定を行う上で不可欠な情報を提供しています。詳しい情報については、www.spdji.comをご覧ください。

詳しい情報については、以下にお問い合わせください：

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス
index_services@spglobal.com